



パーソナル グリーティングの管理

- [41 ページの「パーソナル グリーティングについて」](#)
- [43 ページの「グリーティングの変更」](#)

パーソナル グリーティングについて

Cisco Unity Connection では、パーソナル グリーティングを最大 6 つ録音できます。グリーティングは必要な数だけ使用可能にできます。また、グリーティングの有効期間も指定できます。

多言語システムの場合、複数の言語（デフォルトの言語とそれ以外のシステムで利用可能な言語）でパーソナル グリーティングを再生するオプションを選択できます。デフォルト以外の言語のグリーティングを管理する場合は、電話のキーパッドを使用します。ボイス コマンドは使用できません。

この項では、使用可能なパーソナル グリーティングについて説明します。Connection では、使用可能にしたグリーティングが適切な状況で再生されます。ただし、一部のグリーティングは他のグリーティングより優先されます。

オプション グリーティング

休暇中などの特別な状況を知らせたいときに、特定の期間内だけ再生する場合は、このグリーティングを使用可能にします（たとえば、「<日付>までオフィスにいません」）。

使用可能になっていると、このグリーティングは他のどのグリーティングよりも優先されます。

電話を呼び出すことなくグリーティングに発信者を転送するかどうか、発信者がグリーティングをスキップできるかどうか、およびオプション グリーティングが使用可能なときに発信者がメッセージを残せるかどうかは、Connection の管理者が指定します。Cisco Unity Assistant Web ツールの [オプション グリーティング] ページには、管理者が使用可能にしている発信者オプションが示されます（ある場合）。外部の発信者や他の Connection ユーザが内線をダイヤルして直接電話をかけた場合、発信者オプションは適用されません。



ヒント

他の Connection ユーザが電話でメッセージを送信した場合、そのユーザにはオプション グリーティングが再生されません。オプション グリーティングを使用可能にするだけでなく、名前の録音を変更して、不在であることを示す情報を追加することを検討してください。録音名は、他のユーザがメッセージの宛先としてあなたを指定したとき、および、ディレクトリであなたの名前を検索したときに再生されます。

オプション グリーティングをオンにすると、Cisco PCA のホーム ページにリマインダが表示されます。電話でログオンした後、オプション グリーティングが有効になっていることを知らせるように Connection を設定することもできます。

通話中グリーティング

通話中であることを示す場合は、このグリーティングを使用可能にします（たとえば、「現在別の電話に出ています。メッセージを残してください」）。

通話中グリーティングが使用可能になっていると、通話中の場合に限り、このグリーティングが標準グリーティング、時間外グリーティング、内線グリーティングより優先されます。

なお、Connection の通話中グリーティングが動作するのに必要なサポートは、すべての電話システムで提供されているわけではありません。詳細については、Connection の管理者に問い合わせてください。

内線グリーティング

同僚に知らせる必要のある情報を提供する場合は、このグリーティングを使用可能にします（たとえば、「本日の正午まで会議室 B にいます」）。

内線グリーティングが使用可能になっていると、このグリーティングが標準グリーティングおよび時間外グリーティングより優先されます。また、内線グリーティングは、電話に応答しない場合に社内の発信者に対してのみ再生されます。

なお、Connection の内線グリーティングが動作するのに必要なサポートは、すべての電話システムで提供されているわけではありません。詳細については、Connection の管理者に問い合わせてください。

時間外グリーティング

Connection の管理者が指定した会社の営業時間外に、特別なグリーティングを再生する場合は、このグリーティングを使用可能にします（たとえば、「申し訳ありませんが、電話に出ることができません。当社の営業時間は <時間帯> です」）。

時間外グリーティングが使用可能になっていると、営業時間外の場合に限り、このグリーティングが標準グリーティングより優先されます。

標準グリーティング

このグリーティングは、Connection の管理者が指定した会社の営業時間内、または他のグリーティングがすべて使用不能な状況において再生されます。

設計上、標準グリーティングは使用不能にすることができません。

祝日グリーティング

祝日に特別なグリーティングを再生する場合は、このグリーティングを使用可能にします（たとえば、「本日は祝日でございますので、電話に出ることができません。<日付> ~ <日付> までオフィスにいません」）。


祝日グリーティングが使用可能になっていると、営業時間外の場合に限り、このグリーティングが標準グリーティングより優先されます。

グリーティングの変更

パーソナル グリーティングを使用可能にするときは、その有効期限を指定します。Cisco Unity Connection は、指定された日時になるまで、グリーティングを適切な状況で再生します。その後、グリーティングは自動的に使用不能になります。たとえば、オプション グリーティングを設定して、休暇から戻ってきた日に再生を止めることができます。

グリーティングの再生を無期限に使用可能にすることもできます。これは、通話中グリーティングや時間外グリーティングを使用するときに便利です。

次のいずれかを選択して、グリーティングが使用可能なときに発信者が聞く内容を指定します。

パーソナル グリーティング	Connection によって、ユーザが録音したグリーティングが再生されます。  注 グリーティングを録音しても、そのグリーティングは使用可能になりません。
システム グリーティング	Connection によって、あらかじめ録音されているグリーティングが、名前とともに再生されます（たとえば、「申し訳ありません。< ユーザ名 >は電話に出られません」）。グリーティングが使用可能な状態であるが録音されていない場合は、Connection があらかじめ録音されているシステム グリーティングを再生します。
なし	Connection によって、グリーティングは再生されません。代わりに、発信者にはメッセージを残すように合図する発信音が再生されます。

グリーティングはいつでも使用不能にすることができます。グリーティングが使用不能なときは、録音が消去されていなくても Connection はそのグリーティングを再生しません。



(注)

多言語システムの場合、デフォルト言語のグリーティングに限り Cisco Unity Assistant Web ツールでグリーティングを管理できます。他の言語のグリーティングを管理するには、電話を使用します。インプットスタイルを電話のキーパッド（[タッチトーンキーのみ] オプション）に設定する必要があります。

グリーティングを変更するには

- ステップ 1** Cisco Unity Assistant で、[グリーティング] メニューの [グリーティング表示] をクリックします。
- ステップ 2** [グリーティング] ページで、変更するグリーティングをクリックします。
- ステップ 3** グリーティングを使用不能にするには、[< 名前 > グリーティング] ページの [無効にする] をクリックしてから、[ステップ 5](#)に進みます。

または、

■ グリーティングの変更

グリーティングを使用可能にするには、適切なオプションを選択します。

終了日時設定なしで有効にする	グリーティングが無期限に再生されます。
終了日時を設定して有効にする	指定した日時までグリーティングが再生されます。指定した日時になると、グリーティングは自動的に使用不能になります。

ステップ 4 [再生されるメッセージ] セクションで、適切なオプションを選択します。

パーソナル レコーディング	ユーザ独自のグリーティングを録音する場合に選択します。 Media Master で、[録音] をクリックしてグリーティングを録音します。録音を終了するときは、[停止] をクリックします。
システム デフォルト グリーティング	あらかじめ録音されているシステム グリーティングを使用する場合に選択します。
なし	発信者にメッセージを残すように合図する発信音が再生されます。

ステップ 5 [保存] をクリックします。

